

# 令和6年6月定例会一般質問

通告5

**質問 岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のコース拡充に向けた取組を**

**答弁 学生の定員充足に向けた必要な協力を行ってまいります**

3番 あべ たかひろ 阿部 隆弘 議員

【質問：阿部 隆弘 議員】

3番、阿部隆弘でございます。岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のコース拡充に向けた取組について御質問させていただきます。

岩谷学園ひがし北海道IT専門学校については、令和5年11月認可、令和6年4月開校により地域未来情報テクノロジー科、農業酪農ITコース、商工業観光ITコースに本年度4名の学生を迎えることになり、来年度の学生の増員が期待されるところです。令和3年12月には、学校法人岩谷学園誘致の会、中標津町商工会、中標津町農業協同組合、計根別農業協同組合、中標津建設業協会と本町で連携協定を締結、さらに令和6年3月、学校法人岩谷学園と北海道根室振興局、北海道根室教育局で包括連携協定が締結されました。

このIT専門学校の将来を見据え、ただいま水産庁が進めるスマート漁業に対応するため、管内1市3町の協力のもと、漁業ITコースを検討するよう本町が中心となり、根室振興局を通じて管内漁業協同組合、1市4町と学校法人岩谷学園との連携協定を締結し、コースの拡充を求めていますでしょうか。

また、本町へは道立北の森づくり専門学院の誘致はかないませんでした。IT専門学校に林野庁が進めるスマート林業に対応するため、林業ITコースを検討するよう、管内森林組合と1市4町と、学校法人岩谷学園との連携協定を本町が中心となり締結し、さらなるコースの充実を求めていますでしょうか。

さらに、管内農業協同組合、商工会、商工会議所、建設業協会、観光協会との連携協定の締結を行うことにより、農業酪農ITコース、商工業観光ITコースの学生の増加にも期待できるものと考えます。

コースの新たな開設には施設整備や人員確保など人もお金も必要となりますが、既存コースの充実、コースの新設により、根室管内唯一の専門学校である岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のさらなる充実強化につながり、管内市町村の産業振興、人材育成、



交流人口の増加に貢献できることが期待されます。実現するには時間がかかると思いますが、町長のお考えをお聞かせください。

**【答弁：町長】**

阿部議員御質問の岩谷学園ひがし北海道IT専門学校のコース拡充に向けた取組について御答弁申し上げます。

岩谷学園ひがし北海道IT専門学校は本年4月に開校を迎え、現在、農業酪農ITコース、商工業観光ITコース、それぞれ2名計4名の学生が通学しております。

同校では現在、次年度の定員充足に向け、オープンキャンパスや学校見学会、PTA連合会根室支部総会指導者研修会における講演など、積極的な学生確保の取組が行われております。

同校の学科構成については、学園の強みである簿記を中心としたビジネス教育、町内民間有志により設立された中標津町岩谷学園誘致の会が中心となり、中標津町商工会、中標津青年会議所、本町により積み重ねてきた協議、道東の各高等学校の生徒を対象とした広範なアンケート調査などを組合せて設定された経過があります。

また、学園の経営計画に基づき、校舎建設や人員配置などの投資が行われてまいりました。学科コースの新設は私学である学園全体の経営計画の見直しにもつながります。

本町としましては、当面は現在の学園の経営計画に基づき、学生の定員拡充に向けた地域内外への積極的な情報発信など必要な協力を行ってまいりますので、御理解を賜りますようお願い申し上げます。